

授業科目名	人間発達学	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	開発 基文、中村 麻美	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要・学習目標〕</p> <p>人間発達学の『人は生まれてから死ぬまで発達する』という生涯発達の視点は、リハビリテーションに関するどの分野の中でも基礎にあたる部分であると考えられる。特に、乳幼児期から学童・青年期までの運動機能を中心に、認知機能、言語機能、社会性の発達について学習する。</p> <p>また、生涯を通して発達し、成人期・老年期も含めた発達過程に浮いて理解を深める。対象者に沿ったリハビリテーションを展開する上で、ライフステージごとの課題について理解を深め、リハビリテーションの目標設定などに組み込めるよう理解する。</p> <p>授業形態は、基本は対面講義を中心に行うが、学生間講義など、学生自身が能動的に取り組む課題を通して、より理解を深め学習できるように進めていく。</p> <p>内容は、人間発達学に通じる発達理論や発達に関連する検査、運動発達（粗大運動、目と手の協調など）、認知発達、社会性について、基礎的な知識を講義していく。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	講義オリエンテーション/発達概念 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第1章				〔開発〕
第 2 回	運動発達 グループワーク グループワーク説明 グループ学習①				〔開発〕
第 3 回	発達理論/発達検査 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第2章 第3章				〔開発〕
第 4 回	運動発達 グループワーク グループ学習②				〔開発〕
第 5 回	姿勢反射/反応 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第4章				〔開発〕
第 6 回	運動発達（0～3カ月） 姿勢反射/反応 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第5章				〔開発〕
第 7 回	運動発達（4～6カ月） 姿勢反射/反応 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第6章				〔開発〕
第 8 回	運動発達（7～9カ月） 姿勢反射/反応 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第7章				〔開発〕
第 9 回	運動発達（10～12カ月） 姿勢反射/反応 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第8章				〔開発〕
第 10 回	運動発達（13～18カ月） 姿勢反射/反応 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第9章				〔開発〕
第 11 回	姿勢反射反応と6歳までの発達のまとめ 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第10章				〔開発〕
第 12 回	上肢機能の発達 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第11章				〔開発〕
第 13 回	ADLの発達 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第12章				〔中村麻〕
第 14 回	感覚・知覚・認知・社会性の発達 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第13章				〔中村麻〕
第 15 回	学童・青年・成人・老年期の発達 教科書「イラストでわかる人間発達学」 第14章				〔中村麻〕
評価方法	課題（レポート・演習等）（60%）、小テスト（40%）				
教科書 参考図書	〔教科書〕 イラストでわかる人間発達学（医歯薬出版）				
	〔参考図書〕 標準理学療法学・作業療法学 人間発達学（医学書院）				
履修上の 留意点	課題および小テストで評価を行います。日々の学習を重視して進めていきますので、課題のレポート等についても積極的に学習した成果を記載するように進めてください。				
メッセージ	人間はどのように成長していくのかについて興味を持って学んでもらえればと思います。人間の土台となる要素は、外界からの影響によって人間そのものがもつ発達の課程に沿って成長し、知的能力などの人間らしい部分は人間社会での生活において身につくことを理解してもらえよう講義を進めていきたいと思っています。				